

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号	43
---------	----

1 施策の概要

1－1 施策の名称	情報の共有				基本施策コード	5－1－1	担当課評価	平成22年度評価 （前期の成果）	平成27年度評価 （全期間の成果）	● 施策評価の判定基準 A： 施策の目的を効果的に達成しているので継続する B： 施策推進の実施手法等に改善の必要がある
1－2 担当	部	教育部	課 又は施設	生涯学習	評価票作成者	生涯学習課長 都築良直				
1－3 総合計画 における施策の体系	①節	交流と市民参加「市民と行政が尊重しあう協働のまちづくり」								
	②項	参加と協働								
1－4 施策の目的	市民と行政が情報を共有し、協働して住み良い町づくりをする									
1－5 総合計画 における基本成果指標		基本成果指標名		前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
				目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（％）	
	①		市民向けパソコン教室の参加者数（人）	200（人）			200（人）			
	②		市民向けパソコン教室の開催回数（人）				10（回）			
	③									

2 施策推進の状況

2－1 施策全体に係る合計コストの推移（千円）		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費	240	192	198	108						
	人件費	0	0	0	0						
	合計コスト	240	192	198	108						

3 施策の担当課による評価結果

3－1 評価結果	単年度 担当課評価	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		☒ 良好に進展	☒ 良好に進展	☒ 良好に進展	☒ 良好に進展	☐ 良好に進展	☐ 良好に進展	☐ 良好に進展	☐ 良好に進展	☐ 良好に進展	☐ 良好に進展
3－2 評価の内容		☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない	☐ 良好でない
		今後の環境変化を踏まえた課題認識			既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方			施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価			
	平成18年度	パソコン操作に習熟した若年層が、家庭内講師をすることによりパソコンは、もっと一般的になる。			パソコン操作の基礎講座とともに、若干の応用講座を継続して開催する。			少なくとも160人の市民が不利益から遠ざかった思う。			
	平成19年度	〃			基礎講座開催の需要は底を打ちつつあり、今後、講座回数について見極める必要がある。			基礎講座の開催回数を減らしたが、順調に講座開催が運営できた。			
	平成20年度	行政によるデジタルデバイド対策は、財政難の状況にあっても必要である。			基礎講座（スイッチの入れ方から始める初歩的なもの）、中級講座（ワード・エクセル）を継続して開催する。			基礎講座の開催回数は前年度並みとしたが、中級講座を開催し、市民の要望に対応した。			
	平成21年度	今後は、デジタルデバイド対策ではなく生涯学習の一部として捉えていく			基礎講座（スイッチの入れ方から始める初歩的なもの）、中級講座（ワード・エクセル）を継続して開催する。			費用削減のため、開催講座数を減らしたが、抽選での当選確率は、前年度と対比してに大きな変動はなかった。			
	平成22年度										
	平成23年度										
	平成24年度										
	平成25年度										
	平成26年度										
	平成27年度										

4 ■ 参考情報

[illegible]